



◀叙勲を受けた鴈原さん(右)  
武内支庁長(左)と一緒に記念撮影

## ☆鴈原氏に高齢者叙勲 …旭日単光章を授賞

満88歳の方が対象となる「高齢者叙勲」が、元奥尻町議会議員の鴈原幸一氏(字球浦・満88歳)に昨年11月1日付で発令され、鴈原氏が「旭日単光章」を授章されました。

同氏は、昭和34年5月に奥尻村議会議員に初当選され、以来50年4月まで連続4期16年間の永きにわたる在職の間、同議会農林水産常任委員会委員、産業常任委員会委員長、社会文教常任委員会委員長などの要職を歴任され、地域の発展に多大な貢献をされました。

また、鴈原氏は、奥尻漁業協同組合代表監事などの役職も歴任されており、地域の振興にもご尽力されています。

これらの功績が認められてこのたびの授章となりましたが、この叙勲は、昨年11月30日に武内檜山支庁長から鴈原氏本人へ伝達されています。



## まちの話題あれこれ

▼表彰状を手にする石見さん



## ☆海難救助で石見さん表彰 …漁船火災で船長を救助

昨年12月に青苗岬沖で発生した漁船火災の際に、イカ釣り漁船船長の石見壽夫さん(字青苗・満70歳・ひやま漁協奥尻支所所属・青苗救難所所員)が、火災が発生した漁船の船長を救助した功績に対し、江差海上保安署長から表彰されました。



この漁船火災は、昨年12月21日午前1時頃に、青苗岬北東5海里付近で操業中のイカ釣り漁船(9.9トン、1名乗組)の機関室で火災が発生、船長が自力消火を試みるも火の勢いは衰えず、機関も停止したことから無線で救助を求めているところ、付近で操業中の僚船・第35美登丸(船長・石見壽夫さん)が無線を傍受し救助に向かい、火災が発生した漁船の船長を救助して青苗港に入港したものです。

なお、この火災が発生した漁船はその後延焼を続け、巡視船「かむい」が消火活動中の午前5時23分に沈没しました。

この石見さんの功績に対し、2月27日に江差海上保安署で、江差海上保安署長から石見さん本人へ表彰状が贈られています。

## ☆町消防団が表彰旗を授与 …消防庁長官から成績優秀につき

3月2日、日本消防会館で高部正男消防庁長官から、檜山広域行政組合奥尻町消防団(団長・神崎 通)に「表彰旗」が贈られました。

この表彰は、同消防団が災害の防除と消防力の強化につとめ、その成績がとくに優秀で、他の模範であると認められた功績により贈られたもので、表彰旗の授与は北海道内で今年は5団体にしか授与されないとても名誉なものです。

同消防団の沿革は、明治41年に奥尻青年会事業として消防組織を創設したのが始まりで、奥尻大火をはじめとする数々の消火活動、海難出動、防火・防災訓練、防火思想の普及、消防施設の整備など、今日まで数多くの功績を残してきました。

その功績が認められ、平成13年3月には消防庁長官から「竿頭綬」が授与され、さらに名誉なこのたびの表彰旗授与となったものです。

なお、同消防団の神崎通団長と坪谷勝司副団長が、3月15日にその報告のため和田町長を訪れ、名誉ある表彰旗とともに記念撮影をしました。



▲表彰旗を手に記念撮影  
神崎団長(右)  
和田町長(中央)  
坪谷副団長(左)

# ★ わが家の ★ アイドル ★



中町宏樹さん（字奥尻）の

ひ な  
(右) 長女 **比 菜** ちゃん (4歳)

くう が  
(左) 長男 **空 我** くん (2歳3ヵ月)

～両親からのメッセージ～

2人仲良く、元気で優しい子になってね♡

## ★道知事から町に感謝状

### …交通事故死パーフェクトとして

平成18年中に交通事故死の発生が皆無な市町村（パーフェクト市町村）として、3月9日に高橋はるみ北海道知事から奥尻町に感謝状が贈呈されました。

北海道では、平成18年における交通事故による死者数は277名で、前年と比較して25名減少し、「交通事故死ワーストワン返上」を2年連続して達成していますが、奥尻町では昨年12月21日をもって交通事故死ゼロの日が2,000日を達成（現在も記録更新中）するなど、北海道のワーストワン返上にも貢献した功績から、このたびの感謝状贈呈となったものです。

▶今回参加した会員



## ★3年連続で 包丁研ぎ奉仕 …建設技能者協会のボランティア

建設技能者協会（会長・三上勝広）では、町内の小・中学校と特別養護老人ホーム「おくしり荘」の包丁を一斉に集め、2月24日に「包丁研ぎのボランティア」を行いました。

同協会は、町内の建築・建設業をはじめ、配管業や塗装業など、建築資格や各種技能の資格を取得している業者の方々で組織し、お互いの交流と技術の向上を図るかたわら、奥尻町のクリーンアップ作戦などに積極的に参加するなど、ボランティア活動を通して町や地域のために奉仕しています。

この包丁研ぎも奉仕活動の一環として今年で3年連続で実施されたもので、今年では会員9名が参加し、会長宅の作業場で1丁1丁ていねいに磨き上げられました。

なお、今回包丁研ぎを実施したのは次のとおりですが、合わせて98丁にもものぼる新品同様となった包丁に、各小・中学校や「おくしり荘」とも大変喜び、とても感謝していました。

- 宮津小学校 18丁
- 奥尻小学校 13丁
- 青苗小学校 11丁
- 奥尻中学校 29丁
- 青苗中学校 16丁
- 特別養護老人ホーム「おくしり荘」 11丁

98丁もの包丁を次々と研ぎ上げていく

